

5 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上に関する事業

イ ボランティアの養成・研修事業

c ボランティアによる自主企画事業

違いを楽しもう！レベルアップキャンプ
(大学生のためのボランティア活動推進事業)

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家

〔期日〕 令和5年12月2日(土)～12月3日(日) 1泊2日

〔会場〕 国立諫早青少年自然の家



〔参加者〕 小学校3年生から中学3年生の児童・生徒 21名

〔担当者〕 法人ボランティア8名、貞方 貴衣、西田 尚由

1)趣旨

新しい仲間と出会い、協力する自然体験活動を通して、相手の気持ちを考えて行動する力を育みます。

2)SDGsで目指す姿

		目標4 質の高い教育をみんなに 異学年との交流により自身と他者の違いを認識し、視野を広げる。 目標15 陸の豊かさを守ろう 森の中での様々な活動を通して、自然や生き物に触れ、生物多様性を身近なものとして考える。
--	--	--

3)目標

- ・仲間の違いを見つける。
- ・自分らしさを大切に。
- ・楽しむ!!!

4)プログラム

12月2日(土)	12月3日(日)
10:00 受付(本館ロビー)	6:30 起床
10:30 オープニング・アイスブレイク【写真①】	7:15 朝のつどい
11:30 ベッドメイキング	7:30 朝食(早朝活動食)
12:00 昼食(持参)	8:10 宿泊部屋清掃・点検・荷物整理
13:00 オリエンテーリング ～わくわく森の音楽隊～【写真②】	9:10 野外炊事(豚汁)【写真④】
17:00 タベのつどい	13:00 ふりかえり
17:15 入浴	14:00 解散
18:15 夕食(レストラン)	
19:00 キャンドルの集い【写真③】	
20:00 ふりかえり	
21:00 就寝	

5)事業展開

①アイスブレイク



お互いの違いについて考えるためのオリジナルビンゴゲームとフラフープを使ったレクリエーションを行い、仲を深めた。

②オリエンテーリング



各班に分かれ、自然に触れ合いながらの交流を行い、協力して活動に取り組むことができた。

③キャンドルの集い



温かい雰囲気の中で火を囲み、お互いの違いに気付けるゲーム等を行うことができた。

④野外炊事



各班協力して豚汁を作り上げ、みんなでおいしく食べる事ができた。

6)評価

①アンケート結果(事業全体に対する満足度)

満足	やや満足	やや不満	不満
86%	14%	0%	0%

②参加者の声

- ・オリエンテーリングでは道に迷ったけど協力して戻って来ることができました。
- ・違いをいろいろ見つけられて、いつも気にしない違いが分かりました。
- ・とてもたくさんの友達ができた。

7)成果と課題

①成果

- ・企画者のメンバーは、今年度から登録したボランティアも企画運営に携わり、踏査や話し合いを通して、子どもたちへ何を伝えたいのかを考えることができた。
- ・大きな怪我や事故もなく、一泊二日を通して、安全に楽しく過ごすことができた。
- ・参加者は幅広い年齢層の中で活動しながら、お互いの違いを見つけ、その良さについて考えることができた。

②課題

- ・集中して活動をするとき(話を聞くと)とそうでないときの時間の使い方(時間に対するメリハリ)があるとさらに良かった。